

令和元年度 地域づくり研修会 アンケート集計

Q1・Q2 性別・年齢

	男性	女性	合計
～20代	1	0	1
30代	2	0	2
40代	7	2	9
50代	9	4	13
60代	6	3	9
70代～	3	0	3
合計	28	9	37

Q3 基調講演の内容はいかがでしたか？

	回答数	割合
大変よかった	18	52.94%
よかった	13	38.24%
普通	3	8.82%
あまりよくなかった	0	0.00%
よくなかった	0	0.00%
合計	34	100.00%

Q4 パネルディスカッションの内容はいかがでしたか？

	回答数	割合
大変よかった	20	58.82%
よかった	14	41.18%
普通	0	0.00%
あまりよくなかった	0	0.00%
よくなかった	0	0.00%
合計	34	100.00%

Q5 「基調講演」・「パネルディスカッション」で興味があった内容や御意見がありましたら、御記入ください。

- ・大熊さんの講演はたくさんの方に聞いてほしい。小麦トラストはまだまだ続けて欲しい活動だった。パネルディスカッションはとても興味深かった。パネリストの中に男性がいたらどんな進行になっていたかと思いました。男性の考える「女性の活躍」と女性の考える「女性の活躍」についてのパネルディスカッションも聞いてみたい。
- ・農泊。広報への力入れ。行政との繋がり。
女性参画に向けた土壌作り(意見を出せる、子ども等を受入れる環境)が、更なる女性参画に結びつくと言うこと。女性参画の促進と言っている時点で差別化されていると思った。女性部会のような仕組みが必要であることは重々承知しているものの、その事が男性と女性の見えない壁を作っているような気がする。ジョディ、みーやんのような若い世代の意見を受入れる仕組み作りが必要であり、その事(考え)を2人のような方がもっと発信できるような研修会があると良いのでは？
- ・パネリストの活動報告は1人の時間が長い。1人6分程度で良いのでは？出来れば資料もいただきたい。
- ・パネルディスカッションは本音の会話が多かったので、もっと大勢の方々に聞いてもらえたらと思います。特に男性の農家・行政職員・JA職員。
- ・今後地域を活性化するには女性の力が必要と思っていたが、なかなかハードルが多いと感じた。
- ・軽トラ市、土曜市は今後も出来るだけ長くやってほしい。
- ・生産者と消費者の顔が見えるような活動(小麦トラスト、大豆トラスト)は、双方にメリットがあるので、これから大事な活動だと思った。
- ・農泊の付加価値の付け方について、もっと知りたくなった。
- ・食育の仕組みとその必要性。おかしいと言われている食をおかしいと思わない人が増えている気がする。
- ・<キーワード>トラスト・食育・にわとりとたまご。現場の力・生産者の力。コミュニティレストラン。
- ・活動をサポートする行政の立場。前例からの変化がない。行政を担うものとして考えさせられる。
- ・女性参画の難しさについて理解をしていたつもりだが、家族のいる人の実感聞いて、周りのサポートの重要性をさらに感じる事ができた。簡単な改善策がないので、意識の改革がやはり重要。
- ・食育の重要性について分かりやすく理解ができた。女性の地域活動への参加の難しさが理解できた。
- ・パネルディスカッションでは経験・体験したことなど楽しく話していただいて農業女性のあり方など聞いてとても参考になりました。頑張っていることなど行動的な「みーやん」楽しかったです。JA女性部の山田さんの会員不足・あり方など話が聞けてよかった。
- ・どのパネリストの方のお話も興味深く聞けました。みなさん自分のためではなく地域の方のため、次世代の方のためにかつどうしていらっしゃる事がすごく伝わってきた。
- ・パネルディスカッションでは、それぞれの詳しい話を聞けてよかったです。
- ・女性組織の難しさが手に取るように分かります。答えは…永久の問題では？

- ・地域づくりに関わる女性が働きやすい環境作りが進んでいくとよいと感じた。
- ・「働く女性」に支店を置いた内容の研修会だったが、活躍の場を作るには家族の理解・サポートはもちろんだが、周りの意識を変えるのが大事なことだと思った。
- ・女性の活躍とネットワークの必要性が理解でき、大切と感じた。
- ・大熊先生のお話を聞き、北海道の農業を今後も応援し続け、食育活動も続けていきたいと強く思った。また、日本の財産である和食を子ども・大人へ発信することが必要と感じた。今後の活動に今回の研修を参考にしたい。
- ・昨年、自主映画「いただきます」の上映で赤ちゃん連れをOKにしました。外に出たい若い親御さんへの発信でした。子ども連れOKの場を増やし、周りの意識を変えること。女性の参加できる場が広がれば、北海道がもっと元気になる。

Q6 その他、お気づきの点や今後、地域づくり研修会で取り上げてほしいテーマ・内容などがありましたら、ご記入ください。

- ・PPTの内容を紙ベースで配布していただきたい。
- ・手元に残る資料を用意してほしい。
- ・観光資源の活用例。地域づくりの拠点となっている組織、中心となっている人について。成功例は聞き飽きているので失敗例。(こうやったら、こうなってしまった。なので、こうしてみたら、こうなった。というような事例)
- ・活動の継続に関して、秘訣があれば教えてほしい。
- ・農業者以外の人と連携した地域活性化事例。
- ・各地の活動が継続されている取組とその工夫。後継者づくり。
- ・どんなサポートがあれば。地域をなんとかしたいとの思いで今・今日がある。習慣の壁、見えない壁と戦っている。
- ・大熊氏の進行がよかった。

Q7 平成26年度から、道内各地において地域共同の取組を支援する多面的機能支払交付金が実施されていますが、この交付金に対する認識を教えてください。

	回答数	割合
地域の活動組織に参加している	10	29.41%
知っている	19	55.88%
名前は聞いたことがある	2	5.88%
知らない	3	8.82%
合計	34	100.00%

Q8 差し支えなければ、Q7で1を選択された方は市町村名と活動組織名を教えてください。

市町村名	団体名
北見市	排水の草刈
鷹栖町	鷹栖町地域農業推進鷹栖支部
新冠町、日高町	里平地区農地・水・環境保全会
雨竜町	南盛営農組合保全会
江差町	江差町北部環境保全協議会
上ノ国町	天の川地域環境保全協議会
中富良野町	中山間
当麻町	当麻西区
石狩市	浜益柏木地区資源保全組合

Q9 多面的機能支払交付金では、次にあげる地域共同活動などを支援していますが、興味のある活動や、参加してみたい活動を選択してください。(複数回答可)

	回答数	割合
農地や農道の草刈	7	10.94%
生き物調査	5	7.81%
外来種駆除	7	10.94%
水質調査	4	6.25%
植栽活動	9	14.06%
清掃活動	8	12.50%
伝統農法の保全や体験	5	7.81%
学校教育との連携した活動	15	23.44%
福祉施設との連携した活動	4	6.25%
その他	0	0.00%
合計	64	100.00%

(回答者数24名)

Q10 多面的機能支払交付金について、意見や要望などがありましたら、ご記入ください。

- ・畑及び北海道の交付単価が低いので改善してほしい。
- ・事務作業の軽減を図ってほしい。この事業は農家にとって、とても良い事業であり末永く継続してほしい。
- ・去年は交付金が遅かったなので、できるだけ早めをお願いしたい。